

あとがき

パイオニア宣伝部に堀谷さんという先輩がいました。私が入社する前から宣伝部において、同じリストラと一緒に辞めました。共に制作の仕事をしていましたが、私はコピーライターをベースにしていたのに対し、堀谷さんはデザイナーをベースにしており、そういう意味では芸術的感覚のすぐれた人でした。

気のいい人で、あれこれ助けてもらったことも少なくなかった記憶があります。パイオニアを辞めて何年かした後、いつどんなことで会った時は全く覚えていませんが、その彼が私に言ったことがあります。

「お前はズルい。お前は俺がやろうとしていることをいつも先にやってしまう。そして俺のやる気をなくしてしまう」

私が植木屋・庭師になったことを非難されたのです。そんなことを言われるなんて全く想像していなかったので、びっくりして絶句した記憶があります。「そんなことを言われても〜!?」と思い、とても申し訳ないような、悲しい思いにとらわれたものです。

確かに庭師の仕事はある意味で芸術的な側面があり、言われてみれば私なんかより堀谷さんのようなセンスの人にふさわしいところがあるのは事実でしょう。しかし、表面の美しいところだけ見ればそうかも知れませんが、現実には齋田造園の先輩職人との確執に象徴されるようなドロドロした辛いこともいっぱいありましたし、繰り返しハチに刺されたり、ハシゴからの転落など避けられない事故も少なくありません。そんな辛いことも正直に列記したこのレポート、堀谷さんに読んでいただいたらどんな感想が寄せられるでしょうか？

上梓にあたって改めて、松井淳二元パイオニア宣伝部長をはじめとするこのレポートを20年間私が送り続け、読んでいただいた皆さんに感謝申し上げます。

この本に纏めたのはレポートのごく一部だけで、実際は膨大なものでしたし、内容的にも読まされる方にはカッタルイことも多いことだったと思います。送り続ける私自身が申し訳なさに耐えられず、途中で送るのを中断したこともあります。そうしたら、パイオニアOB会の総会でお会いした松井さんから、「何で送ってこなくなったのだ」と怒られてしまいました。そして3年分ほどまとめて送ったのですが、とても喜んでいただくことができました。

「このレポートを読んでいただく皆さんに恥ずかしくない仕事をしたい」……。ただ、それだけを自分に言い聞かせてきたこの20年。皆さんのおかげで、私はこの20年間を耐えてやっていくことができたと思っています。

そして上梓にあたってもう一つ、奇跡のような出来事がありました。

たまったレポートを本にできないかと、何年も前から考えてきましたし、それなりに動いてきました。しかし、うまくいかず実現できませんでした。そうしたら昨年、名古屋の高校でクラスメートだった立松和宏君から、「本を出版した。買ってくれ」という手紙が来たのです。日立で定年まで勤めた彼が、定年後に書き続けたエッセイを出版したというのです。もちろん買ってあげましたが、その際に、「出版してくれた出版社を紹介してくれ。俺も本を出したいと思っている」と頼んだのです。

紹介された出版社は「あけび書房」。社長さんは久保さんと言います。なんでも私たちの出た同じ高校の一年下の後輩で、名古屋大学で立松君とは同じサークルで親しい間柄だったそうです。さっそく私の略歴をメールで久保さんに送りましたが、その後はまるで嘘みたいな展開でした。

久保さんから返ってきたメールには、「私はパイオニアの高木さんならよく存じています。昔、大変お世話になりました」とびっくりするようなことが書いてあります。しかし、私にはまったく記憶がありません。なんでも昔〜し、久保さんは日本機関紙協会に勤めていて、その頃、私にお世話になったというのです。確かに20代後半の頃、私はパイオニア労働組合の機関紙部長をしていて、日本機関紙協会にもよく出入りしていました。何しろ40年も前の事でよく覚えてはいませんが、頼まれてあれこれ原稿を書いたことがあるような気がします。久保さんはその後独立し、出版社を起こしたそうですが、人間の縁とはまるで奇跡みたいなものだとは証明するような出来事があって、その後の出版作業は順調に進んだのでした。

庭師から里やまボランティア、そして、子どもたちを相手にした読み語りボランティアへと広がってきましたが、この歳になって青春を謳歌するという気持ちの日々です。もちろん、歳相応にあっちこっちガタガタですし、体力も衰えています。日本の緑を守り、子どもたちの未来に平和をと、これからも努力したいものです。どうか引き続き、見守りを願います。

私がパイオニアを辞めて20年たちますが、世の中はあまり変わっていません。相変わらず、大企業優先の政治が続き、働く者は厳しい状況に置かれています。私の経験が、働く者の参考に少しでもなれば幸いです。

2016年9月

高木喜久雄